

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 02 10	中期総合計画主要施策番号		2-04	担当課	部・課	林務部 信州の木振興課	
事業名		県産材供給体制整備事業					内線	3273	
							E-mail	ringyo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	木材生産・加工・流通施設等の整備に対して支援し、県産材の利用促進を通じて健全な森林の育成を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 近年の住宅需要では、品質・規格の安定した製品が求められているが、県内の木材産業は機械施設の老朽化等により、様々ニーズに的確に対応できない状況となっている。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 木材の生産・加工・流通施設等は高額であり、新規導入や更新が困難である。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 優良な県産材製品の供給等を行うために必要な施設の整備に対し、その費用負担の軽減を図るため経費の一部を支援する必要がある。							
		事業内容							
		市町村、森林組合、木材業者の組織する団体等が実施する、木材集出荷基盤施設、製材施設、木材乾燥施設、製品保管庫等の整備に対し補助する。(補助率: [国] 1/2以内)							
	実施期間	S60 ~	根拠法令等	森林・林業・木材産業づくり交付金実施要綱(国)、県産材供給体制整備事業補助金交付要綱(県)					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	木材の生産・加工・流通施設を整備し、優良な県産材製品の供給による県産材の利用促進を通じて健全な森林の育成を図る。		南信地域に木材加工施設を整備する。(3施設)			南信地域に木材加工施設が3施設整備され、品質の高い県産材製品の供給が可能となった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	35,104	44,216	66,700	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	35,074	40,283		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	42	750	600	歳出節別	補助金: 38,783	
	概 算	従事する職員数	人	0.40	0.40	0.40	内訳等		
	人件費	概算人件費 (C)	千円	2,856	2,860	2,860	(単位: 千円)		
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	37,930	43,143	69,560				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	木材生産・加工施設等への補助		式	2	3	2			
	地域材利用量		千m ³	224	230	236			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・施設整備の要望は増加傾向にあるものの、投資意欲は経済情勢に影響されるため、相対的には横ばいである。 ・国との協調により実施しているため有効性・効率性について変化はない。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		今後は、木材産業界の要望等に基づき、地域の木材資源等の状況も考慮し計画的な施設整備を進めていくとともに、木材業界の育成・強化にも注力していく必要がある。						